

令和 6 年度事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日~令和 7 年 3 月 31 日)

会員

区分	部会等		R6.3.31	増減	R7.3.31	備考
正会員	開業	1	305	△4	301	旧 AB
		2	53	21	74	旧 CDE
	小計		358	17	375	
	衛生・畜産	1	82	△9	73	旧 AB
		2	5	1	6	旧 C
	小計		87	△8	79	
	教育・研究他	1	72	△3	69	旧 AB
		2	12	△1	11	旧 C
	小計		84	△4	80	
合計		529	5	534		
名誉 会員	開業		2	1	3	
	衛生・畜産		6	3	9	
	教育・研究他		4	2	6	
	合計		12	6	18	
賛助 会員	法人		30	△1	29	
	個人		0	0	0	
	合計		30	△1	29	
総合計			571	10	581	

新会員（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までに入会された会員）

区分	部会等		会員名（受理順、敬称略）（（ ）は勤務地）
正会員	開業	1	小山田和央（松原）、柳瀬多嘉子(寝屋川)、山本憲昭(豊中)、山中尚子(池田)、太田暁万（和泉）、尾崎祐介（豊中）、橋本雄大（吹田）、西戸達郎（門真）、岩田海人（吹田）、戸次辰郎（東大阪）
		2	荒川祐衣、岩本龍ノ助、植澤温、大井悠生、岡本茉里、鬼頭梨永、棕橋直紀、小谷崇人、小林直樹、柴崎哲、田中麻紀、堂山有里、永穂克弥、成瀬涼、橋本歌穂、藤崎友裕、麩山洋昭、古川航大、和田智樹、
	小計		29 名
	衛生・畜産	1	徳原顯泰、
		2	吉岡美帆、
	小計		2 名
	教育・研究他	1	市田千尋、原怜史
	小計		2 名
	合計		33 名
賛助 会員	法人	株式会社日本中央住販、株式会社 Bomo	
	合計	2 名	
総合計			35 名

会議等

役員会等開催概要		
定時総会	R6.5.25	決議事項 令和 5 年度事業報告の件 令和 5 年度決算報告の件 定款の改正について 報告事項 令和 6 年度事業計画の件 令和 6 年度収支予算の件 令和 6 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 規則、規程等の改正について
理事会	R6.5.2	第 78 回総会の開催方法、報告・決議事項について 決議事項 令和 5 年度事業報告の件 令和 5 年度決算報告の件 報告事項 令和 6 年度事業計画の件 令和 6 年度収支予算の件 令和 6 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 規則・規程等 の改正について
	R6.5.25	総会運営について
	R6.12.3	役員選任規程に基づく選挙管理委員の選任について 委員会委員の構成について
	R7.3.7	令和 7 年度事業計画書について 令和 7 年度収支予算書について 令和 7 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 委員会委員の構成について 公益法人認定法改正に伴う役員選任規程の改正について 定款第 30 条第 6 項に基づく職務執行状況の報告

(部会：開業；(開)、衛生・畜産；(衛)、教育・研究他；(教)、五十音順、敬称略)

業務 執行 理事	会長（代表理事）：佐伯潤(開) 副会長：北原千春(開)・熊井優子(衛)・笹井和美(教) 専務理事：田中啓一郎((衛)事務局) 常務理事：淡路俊喜(開)
理事	(開)：大下勲、坂口秀平、田村浩司、西村厳童 (衛)：中上昭二、橋詰克規 (教)：中井正博、三宅真実
監事	佐藤昭司(開)、長濱伸也 (衛)、
相談役	木下久則(開)、澤田勉(教)

会務運営会議 業務執行理事	業務執行理事、相談役と関係者を交え、会の実務の執行について企画、検討を実施しました。 (開催；R6/4/19、5/31、6/21、7/26、8/30、9/13、10/11、11/15、12/13、R7/1/17、2/21、3/24)
------------------	---

委員会名	委員名
広報委員会	委員長：田中啓一郎(衛) (開)；江口之朗、木下久則、白石佳子 (教)；秦敦朗、三宅眞実 副委員長(IT 担当)：大下勲(開) (開)；中野康彦 (教)；川手憲俊 (開催：R6/6/04、6/28、7/17、7/31、8/13、9/5、10/3、10/15、10/30、11/1、11/12、11/18、11/21、11/28、R7/1/14)
動物愛護推進委員会	委員長：淡路俊喜(開) 大阪動物愛護フェスティバル委員会委員長：西村巖童(開) (開)；生島広樹、今西修大、尾芝仁、緒方麻衣子、北原千春、小松克、下西清夫、新山亮、松本賢治、安田圭一郎、山本卓矢 (教)；中井正博、深田恒夫 (開催：R6/6/7、7/2、7/18、9/2、10/7、11/25、R7/2/4)
動物介在教育推進委員会	委員長：大下勲(開) (開)；江口之朗、会亀昭夫 (衛)；熊井優子、樋渡清美、光野京子 (開催：R6/6/14)
動物救護等対策委員会	委員長：坂口秀平(開)、副委員長：山岸達郎 大阪 VMAT 隊長；北原千春(開)、同副隊長；大下勲(開) (開)；佐藤光晴、志水孝臣、下西清夫、中津賞 (衛)；小泉典代、武田雅人、虎谷卓哉、橋詰克規 (教)；笹井和美、三宅眞実 (開催：R6/5/16、7/12、10/2711/3、11/12、11/23、R7/2/28)
獣医学術委員会	委員長：田村浩司(開) (開)；淡路俊喜、佐藤昭司、佐藤光晴、西戸達郎、吉田祐樹 (教)；秋吉秀保、相馬武久、古家優 (開催：R6/5/29、6/5、6/21、6/25、6/29、7/9、7/12、7/19、7/24、8/19、8/23、8/25、8/27、9/17、9/26、10/5、10/15、10/18、10/22、10/29、11/1、11/25、12/17、12/25、R7/2/7、2/12、2/16、2/21、3/17、3/25)
狂犬病等感染症対策委員会	委員長：三宅眞実(教)、副委員長：北原千春 (開) (開)；黒川慶一、合原靖子、城塚隆宏、田丸尚道 (衛)；熊井優子、中上昭二、服部武裕 (教)；笹井和美、安木真世 (開催：R6/7/5、R7/3/14)
規律委員会	委員長：佐伯潤(開) 副委員長；北原千春(開)、熊井優子 (衛)、笹井和美(教) (開)；淡路俊喜、坂口秀平 (衛)；田中啓一郎

1 感染症対策事業

(1) 狂犬病予防推進事業

ア 市町村が実施する狂犬病予防注射（以下「集合注射」という。）が、円滑かつ効率的に実施されるよう、また飼犬登録率の向上のため連携を密にした。

大阪府内 42 市町村（大阪市を除く。）と集合注射実施に向けて協議した。

（新型コロナ感染症対応など）

集合注射の中止や実施形態の変更等の対応が 16 の自治体でなされた。

イ 予防注射の接種率の向上を図るため、会員動物病院にポスターを掲出し、あわせてまた、市町村各広報誌へ情報提供し周知啓発に努めた。

ウ 本会が狂犬病予防注射業務研修をおこない、修了した会員獣医師 307 名を集合注射等協力獣医師として委嘱し、確認書の規定に基づき府内 40 市町村長へ推薦した。

エ ワクチンによる事故情報を迅速に共有化することにより飼い主への不安軽減と注射の安全性向上を図り、また、狂犬病予防注射の事故等の迅速対応体制を確認するため連絡会議を開催した。

オ 狂犬病予防注射接種による副反応やアナフィラキシー等有害事象について 5 件の報告があり、丁寧に飼い主に説明し、犬への治療対応も実施した。

カ 本会が作製している、大阪府条例に規定された犬を飼っている旨の表示（門標・犬シール）を魅力あるデザインで作製し、飼い主に無料で配布して接種率の向上を図った。

周知啓発

ホームページに掲載するとともに、市町村周知広報時に啓発文を掲載。

ポスター：会員動物病院(307 施設)に配布。

(2) 人と動物の共通感染症の対策に係る情報収集と啓発

ペット動物の SFTS(重症熱性血小板減少症候群)抗体保有調査を大阪健康安全基盤研究所と協働連携し実施した。また、SFTS の情報についてホームページに掲載した。

レプトスピラ感染症についての検査体制と公衆衛生に係る情報共有のシステムを、大阪公立大学の協力により構築した。

会員、近畿地区連合獣医師会、各自治体担当者を対象とした感染症講習会を子ども同伴を可として開催し、二組の同伴参加があった。

2024/12/4：「身近で危険な人獣共通感染症」

講師：大阪公立大学獣医公衆衛生学教室 安木准教授

養鶏施設や野鳥などの高病原性鳥インフルエンザの発生による鶏肉、タマゴやペットの風評被害の発生がないように正しい情報の発信に努めた。

[情報発信対象] 会員、近畿地区獣医師会、各種団体、一般

[対応会員動物病院数] 307 動物病院

（３）家畜衛生・食品衛生・畜産分野での周知啓発事業

家畜衛生、食品衛生、食肉衛生、畜産分野で最新情報を発信するためホームページに掲載するとともに、チラシ・掲示物で周知した。

豚熱の発生が、イノシシなどの野生でも確認された。豚肉の風評被害の発生がないよう正しい情報の発信に努めた。

農水省がすすめている魚病に詳しい獣医師事業に協力し、養殖場の疾病管理情報の発信と周知に努めるとともに協力獣医師リストに登載した。

2 動物愛護事業

（１）大阪動物愛護フェスティバル事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく動物愛護週間の支援事業として、公益社団法人大阪市獣医師会と主催し、大阪府、大阪市との共催、環境省、公益社団法人日本動物福祉協会の後援により「命ある動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深める」ため、「みんなともだち 地球の仲間」をテーマとして、大阪市中央公会堂で長寿動物表彰を行うとともに、会場に来られない飼い主のため、表彰式の様子を web 配信し、動物の愛護と適正な飼養について周知啓発した。大阪城公園太陽の広場でのイベントについては４年ぶりに開催し、来場者を楽しんでいただきながら、動物の愛護と適正な飼養、災害時の動物との避難等の啓発を行った。

◎大阪市中央公会堂：2024 年 9 月 21 日（土曜日）（Web 配信：2024/10/10～10/24）

ア 長寿動物表彰式

[表彰基準] 大型犬：13 歳以上、中・小型犬：16 歳以上、猫：18 歳以上 合計 839 頭表彰

[特別長寿表彰] 五月山動物園：ウォンバット：36 歳

イ 講演会：講師：新山則子先生（獣医学博士 JAHA 認定家庭犬しつけインストラクター）

演題：「高齢動物と一緒に楽しく暮らし続けよう ～高齢に伴う体の変化と安全な環境づくりを中心に～」

ウ 動物愛護精神の涵養のため、長寿動物表彰を受けた動物の写真を展示した。

◎大阪城公園太陽の広場：2024 年 11 月 11 日（日曜日） 来場者約 6500 人

ア 盲導犬の紹介と演技をとおして、身体障害者補助犬を正しく理解されるよう周知啓発する。

イ 警察犬、災害救助犬の紹介と演習をとおして、犬の訓練としつけが人の生活に必要なことを周知啓発するとともに動物と共存することの楽しさを伝える。

ウ しつけ教室を開催し、しつけの実技指導をとおして、より適切な管理を啓発する。

エ 無料動物医療相談を開設し、診療などへの質問、相談に応じる。

（２）動物救護等対策事業

大阪 VMA T（獣医療支援チーム Veterinary Medical Assistance Team）を、獣医療関係者（獣医師、愛玩動物看護師、動物病院スタッフなど）で構成運営し、自治体の防災訓練等に参加して、ペット動物の同行避難や、災害時の避難所において、同行避難してきた飼い主が協力し合

って動物を管理し、避難生活を開始するための「スターターキット」の考え方の啓発を行った。
また、災害発生時にまず自身の病院を守るための BCP 講習会を主催した。

2024/8/4： 災害に強い動物病院を目指そう～今の備えで大丈夫ですか？～

講師：大下勲理事（大阪 VMAT 副隊長 防災士）

2024/9/3：大阪 880 万人訓練に参加し、会員の安否確認訓練を実施

2024/11/3：東大阪市動物愛護管理講演会「災害時におけるペットとの同行避難について」

講師：坂口秀平理事（動物救護等対策委員長、開業部会長）

2024/11/23：富田林市防災フェアに参加

2024/12/1：大東市防災訓練に参加 防災講話とブース出展を実施 講師：笹井副会長

2025/1/26：大阪狭山市防災フェスタに参加

ア 会員動物病院の連絡網の再確認と web による情報の共有化を実施した。

イ 災害発生における避難所へのペット同行避難について市町村へ周知するとともに、10 施設の避難所に配備したペット収容ケージ 70 台について確認した。

ウ 災害発生時に備えるため、「災害時動物救護協力病院」の確認と追加募集を行った。

エ 動物の個体識別のためのマイクロチップの普及啓発を行った。

逸走動物を早期に飼い主のもとに戻すため、公益社団法人日本獣医師会の個体識別措置推進事業と協働しマイクロチップの普及啓発を行った。

オ 自己完結型救護活動を目指し次の確認点検をおこなった。

災害時用テント 1 張り、小型テント 2 張り、簡易トイレテント 1 張り、折畳ベンチ 3 脚、折畳机 4 脚、折畳椅子 3 脚、カセットガス発電機 1 台、カセットガスストーブ 4 台、ポータブル電源 2 台、太陽光パネル 2 台、ペットキャリーバッグ 1 個、災害時用ケージ 70 台、投光器 2 台、ヘルメット 20 個、ヘルメットランプ 10 個、トランシーバー 6 台、災害本部幟旗 3 旗、カセットガスボンベ 48 本（ローリングストック 7 本/年）

カ 狂犬病予防ワクチン備蓄 3,150 頭分 協力病院 30 病院を確認

備蓄方法：流通在庫備蓄方式(ローリングストック方式)

（3）野生鳥獣救護事業

大阪府野生鳥獣救護ドクターとして協働した。

野生鳥獣救護ドクター登録数：40 名（内 特定救護 3 名）

救護等実績数：126 件（内訳：鳥類 125 件、獣類 1 件）

また、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会の講習会やポスター「ヒナを拾わないで」の掲示等の活動を後援し、大阪府のポスター「野鳥は自然のままに」とともに周知啓発した。

（4）その他

◎大阪府動物飼養管理サポート事業に連携協働

子猫受入動物病院：13 病院、実施動物病院：0 病院、サポート子猫：0 頭

治療実施動物病院：6 病院、 サポート犬：77 頭 ネコ：8 頭 ウサギ：2 頭

◎大阪府所有者のいない猫対策支援事業に連携協働

藤井寺市の 1 地域 1 病院、岸和田市の 3 地域 3 病院において、避妊手術 19 頭、去勢 17 頭、助言相談 4 回（うち譲渡対象：雌 5 頭、雄 6 頭 計 11 頭）

◎大阪府子猫育成サポート事業に連携協働

指定動物病院：12 病院、実施動物病院：4 病院、対象子猫：8 頭

◎大阪府多頭飼育対策事業に連携協働

寝屋川市案件ネコ 29 頭、泉南市案件ネコ 8 頭について、11 病院で計 37 件対応

◎大阪府適正飼養普及啓発事業

講師として会員獣医師を推薦し 4 か所で獣医療からの適正飼養を啓発した。

◎大阪府動物愛護推進協議会に佐伯会長、動物愛護推進委員会淡路委員長が委員として参画。

◎大阪府動物愛護推進員に会員を推薦。

◎大阪府動物由来感染症対策連絡会議に佐伯会長が委員として参画。

◎大阪府アライグマ被害対策検討委員会に佐伯会長が委員として参画。

◎大阪府畜産会衛生対策事業等に会員が参画。

3 動物介在教育推進事業

(1) 大阪府教育庁、学校教育関係者等への学校飼育動物に対する技術的指導、支援。

教育庁の市町村担当主事研修を支援した。今年度は、学校飼育動物推進委員会大下勲委員長が講師を務め、大阪府動物愛護管理センターにて対面形式で研修を行った。

(2) 各市町村学校における子どもたち等への学校飼育動物の講習会等への協力

学校飼育動物協力獣医師：44 名

市町村教育委員会：42 機関

対象小学校・支援学校：732 校

学校での動物飼育の発表展示と奨励表彰

動物愛護フェスティバル in 大阪城公園にて、泉佐野市立上之郷小学校の取組についての展示を行い優良校として表彰。

動物介在教育特別講義支援

R6/11/16：大阪大谷大学教育学部教育学科幼児教育専攻自然教育コース学生 20 名に対し特別講義学外講師として、動物介在教育推進委員会大下勲委員長が講演。

・がっこう動物新聞（壁新聞）第 13 号を配付

配付先：大阪府教育庁事務局市町村教育室小中学校課及び教育振興室支援教育課の 2 課、大阪府内（大阪市を除く）の各市町村教育委員会事務局：42 事務局、大阪府内（大阪市を除く）の小学校：686 校、支援学校：46 校、本会会員の動物病院：308 施設

4 学術普及事業

(1) 学会、研修、講習会の開催

1. 2024/8/25：

「新しくなった WSAVA のワクチネーションガイドライン～その変更点と臨床応用～

場所：大阪公立大学 I-site なんば

講師：栗田吾郎先生（大村智記念研究所 感染症学研究室）

対象：愛玩動物看護師・その他動物病院スタッフ

2. 2024/10/22：「絶対成功する！初めての症例発表 2024」症例発表練習会（zoom 開催）

①症例発表練習会 3 題

②アドバイザー：

鳩谷晋吾 先生 大阪公立大学大学院獣医学研究科細胞病態学研究グループ 教授

古家 優 先生 大阪公立大学大学院獣医学研究科獣医内科学研究グループ 准教授

秋吉秀保 先生 ネオベッツ VR センター

3. 2025/2/16：学術セミナー 「消化器セミナー」

「肝臓&消化管ブラッシュアップ！ 獣医師が知っておくべき検査・治療

～ベーシックからアドバンスまで一気に学ぼう！～」

場所：大阪公立大学 I-site なんば

講師：金子泰之先生（宮崎大学農学部獣医学科動物病院研究室准教授）

(2) 学会、研修、講習会の共催、協力

1. 2024/5/16：獣医脳神経脊椎外科研究会オンラインセミナー

2. 2024/7/27～28：（一社）日本臨床獣医学フォーラム WJVF 第 15 回大会

3. 2024/8/25：獣医脳神経脊椎外科研究会 年次講習会 2024

4. 2024/9/14～15：（公社）日本動物病院協会 第 175 回 JAHA 国際セミナー

5. 2024/9/15：（一社）日本獣医麻酔外科学会 2024 年度第 1 回近畿地区講習会

6. 2024/10/5～6：（公財）動物臨床医学会 第 45 回動物臨床医学会年次大会

7. 2024/10/20：（公社）大阪市獣医師会 特別講演会

8. 2024/11/20～22：（公社）日本動物病院協会 第 173 回 JAHA 国際セミナー

9. 2024/12/20～22：（一社）日本獣医麻酔外科学会 2024 年度第 109 回学術集会

10. 2025/1/11～12：（一社）日本身体障害者補助犬学会 第 16 回学術大会

11. 2025/3/8～9：日本獣医内視鏡外科学会（JSVES）第 26 回学術総会

12. 2025/3/9：（一社）日本獣医麻酔外科学会 2024 年度第 2 回近畿地区講習会

13. 2025/3/12～14：日本動物病院協会 第 177 回 JAHA 国際セミナー

14. 2025/5/15：獣医脳神経脊椎外科研究会オンラインセミナー

(3) 学会への参加発表の奨励、表彰

本会の公益事業の発展に貢献、功績のあったものに会長賞を授与した。

1. 会長賞

【大阪府多頭飼育対策事業対応会員】

淡路俊喜様、梅原竜幸様、長村徹様、北原千春様、香西直美様、坂口秀平様、下西清夫様、白石佳子様、園山順子様、竹内浩成様、中井清貴様、中野康彦様、新名雅文様、山岸達郎様、山口剛様、山本卓矢様、山田隆弘様

【大阪府所有者のいない猫対策支援事業対応会員】

加藤琢也様、佐藤光晴様、城之内信一様、富山友貴様、

【大阪 VMAT 隊員】

宮澤智美様、

2. 令和 7 年挙行の各卒業式で成績優秀で将来の発展が期待できるものとして会長表彰状授与者

徳野 日咲 様 大阪府立大学獣医学科(R7/3/24)

大島 彩楓 様 大阪 ECO 動物海洋専門学校(R7/3/4)

森 颯貴 様 大阪ペピイ動物看護専門学校(R7/3/19)

(4) その他

1. 学術情報等を掲載した会報を発行した。発行部数：750 部

配布先：会員、近畿地区連合獣医師会構成獣医師会、関係行政機関、動物関係団体、薬業関係

その他の事業

1. 獣医療に関わる者の待遇改善・福利厚生に関する事業として実施した。

(1) 社員並びにその親族への慶弔と見舞金の給付

日本獣医師会獣医師福祉共済事業で福利厚生を図った。

訃報に接して、供花、香典等で弔慰をしめした。(受信順、敬称略)

開業部会	佐藤正勝 (本人)、三宅裕一 (父)
衛生・畜産部会	三田菊次郎 (本人)、

(2) 獣医療証明様式などの頒布

日本獣医師会様式、マイクロチップを頒布した。

(3) 会員への情報提供等

会員専用ホームページから速報や訃報で、また文書で情報提供した。

2. 大阪府動物愛護管理基金寄附事業

大阪府動物愛護管理基金に寄附し、動物愛護・動物福祉の向上に資することを目的とする事業を実施したが、利益が生じなかったため寄附できなかった。